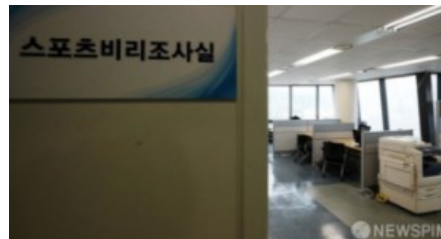




2022 年度
第 8 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
スポーツ倫理センター
A 種目に対する
審判懲戒処分へ



2
銀メダルを
眺める
変わった視線



3
東京オリンピック
アーチェリー女子
代表チーム
大韓体育会体育大賞受賞



4
李ジェミョン
尹トクヨル
体育政策だけを見ると
誰を選ぶのか



5
週間
スポーツ
ニュース

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



01 ニュースピム 2022. 02. 25

スポーツ倫理センター、A 種目に対する審判懲戒処分へ



スポーツ倫理センターが 2022 年度第 2 次審議委員会を開き、上程案件を議決したと 25 日発表した。

倫理センターは今年 22 日、ソウル特別市西大門区のスポーツ倫理センターで審議委員会を開き、スポーツ人権小委員会で 10 件、スポーツ不正小委員会で 7 件を議決するなど、上程された 17 案件に対する審議・議決を行った。

審議委は特に、「全国 A 大会不正判定および異議申し立ての不当処理疑惑」について、被被告人 B 氏に対しては「懲戒要請」を、A 種目団体に対しては「制度改善勧告」を議決した

B 氏は全国 A 大会決勝試合の審判長として不公正な判定を下し、不当に異議申し立てを処理した疑いが持たれている。同センターは▲当時、決勝戦で 1 人の選手のスタートが確実に早かった点、▲出発審判が B 氏に「1 人の選手が先に出発したようだ」と報告した点、▲以後、B 氏がこれに関する異議申し立てを受けたが、事実上拒否するような表現をした点などを総合して判断した結果、B 氏の異議申し立てを不当に処理した疑いを一部事実と判断した。一方、偏向判定の場合、容疑を立証する明確な根拠が確認できなかったため、審議議決事案から除外された。

また、審議委は「C 協会職員の補助金横領の件」について、被被告人 D 氏に対して「懲戒要請」を議決した。調査の結果、D 氏は C 協会の職員として在職し、臨時職を雇ったかのように書類を見せかけた後、人件費を横領していたことが明らかになった。

チェ・ドンホ審議委員長は「A 種目の場合、公式映像資料や電子計測などのシステムがなく、誤審や偏向判定の是非はいつでも再発する可能性がある」とし「中継画面の映像を公式判定の根拠として認め、映像電子計測システムを導入するなど制度改善が急がれる」と述べた。

続いて「一部のスポーツ団体ではいまだに横領が続いている」とし「C 協会補助金横領事件の場合、被被告人が知人の口座に人件費を送金し、再び自分の配偶者の口座にお金を振り込んだという点で横領の意図が明確だ」と懲戒要請の背景を説明した。

倫理センターは審議委で「懲戒要請」議決した事件を文化体育観光部に送付し、文化体育観光部長官は該当種目の団体に倫理センターの議決通り処分するよう要求する。「捜査依頼」事件は倫理センターが担当捜査機関に直接捜査を依頼し、「続行」事件は担当調査官の追加・補完調査を経て、以下の審議委に上程される。

一方、倫理センターは今年に入って 2 回の審議委員会を開催し、計 35 件の事件を議決した。

出典：<https://www.newspim.com/news/view/20220225000407>

02 KBS 2022.02.21

銀メダルを眺める変わった視線



世界 91 カ国 2,900 人余りの選手が参加した北京冬季オリンピックが 17 日間の長い道程を終えて幕を閉じました。コロナ 19 の危機状況や一部種目の偏り判定議論などで困難もありましたが、みんな最後まで最善を尽くしました。今回のオリンピックでは勝敗だけにこだわった過去とはずいぶん違う場面があって、注目を集めました。

銀メダル、銅メダルを取った選手たちの明るい笑顔でした。

国民も金メダルに劣らない暖かい拍手を送りました。

過去、韓国社会は金メダルが取れなかったら批判して叱責する雰囲気がありました。

しかし、昨年東京五輪と今回の北京五輪を通じて、銀メダル、銅メダルはもはや敗北ではなく、さらなる勝利の象徴と評価されました。

太極旗を上げたスピードスケートのチャ・ミンギョ選手とショートトラック代表の銀メダルセレモニーは印象的でした。

銅メダルを取った選手や入賞圏に入れなかった選手にも、国民は一様な歓呼と喝采を送りました。

全力を尽くして挑戦し、正々堂々と勝負を繰り広げた選手たちはみんな勝者でした。

今回のオリンピックを機に、韓国のスポーツはもはや「1等至上主義」から脱しなければなりません。

金メダルさえ取れば暴力と汚職などどんな犠牲も耐えなければならなかった「金メダル至上主義」から果敢に脱皮しなければなりません。

選手たちの人権は徹底的に保障されなければなりません。

ルールを守って最善を尽くして挑戦すれば、金メダルでなくても国民は暖かい激励を惜しまないでしょう」。

最善を尽くして挑戦し、公正な競争を繰り広げるならば皆が勝者になり、また別の挑戦の機会が開かれるという貴重な教訓を得ました」

コロナ 19 拡散による閉鎖的な環境とホームチームの違いの中で、韓国代表チームは 4 年前の平昌よりずっと厳しいオリンピックとなりました。

厳しい環境の中でもひるまず、堂々と勝負を競った韓国代表チームに惜しめない応援の拍手を送ります。

今回のオリンピックを通じて韓国社会が「1等至上主義」「金メダル至上主義」から脱し、一層成熟した民主社会へと進むことを期待します。

ニュース解説でした。

出典：<https://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5399651&ref=A>

03 SBS 2022.02.24

東京オリンピックアーチェリー女子代表チーム、大韓体育会体育大賞受賞



昨年、2020 東京夏季五輪に出場したアーチェリー女子国家代表チームが、大韓体育会体育賞の大賞格である体育大賞を受賞しました。

大韓体育会は 1988 年ソウル五輪から東京五輪まで五輪女子アーチェリー団体戦 9 連覇を達成した国家代表チームを 68 回大韓体育会体育賞体育大賞受賞チームに選定したと発表しました。

安山、カン・チェヨン、チャン・ミンヒで構成された韓国チームはオリンピック 9 回連続金メダルを獲得し、特に安山は団体戦と混成団体戦、女子個人戦で金メダルを獲得し、韓国夏季オリンピック出場選手としては初めて 3 冠王に上がりました。

体育会は昨年 11 月から 12 月にかけて体育賞受賞候補者の推薦を受け、事前審査委員会やスポーツ公正委員会の審議を経て、先月 24 日の理事会で最終的に受賞者を確定しました。

競技部門最優秀賞はフェンシング男子サーブル代表チームの長兄金ジョンファンと女子バレーボール代表チームが共同で受賞しました。

金ジョンファンは東京五輪の男子サーブル団体戦で後輩たちと力を合わせて金メダルを獲得し、個人戦では 2 回連続銅メダルを獲得しました。

エースの金ヨンギョンを前面に押し出した女子バレーボールは、2012 ロンドン五輪に続き、東京でも 4 強神話を作りました。

東京オリンピック男子アーチェリー 2 冠王の金ジェドクや陸上男子高跳びで 4 位になったウ・サンヒョク、テコンドー銀メダリストの李ダビンらは優秀賞を受賞します。

大韓体育会体育賞は、韓国スポーツの発展に寄与した功労者を選定し、体育人の士気を高め、体育振興を図ることを目的に制定されました。

今年は競技、指導、審判、生活体育など 8 部門において 9 団体、108 名が賞を受賞しました。

授賞式は 28 日午前 10 時 30 分からソウル市松坡区バンイドンオリンピック公園ミュージアムで行われます。

出典：https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1006653180&plink=ORI&cooper=NAVER

04 スポーツ京郷 2022. 02. 27

李ジェミョン・尹ソクヨル、体育政策だけを見ると誰を選ぶのか



3 月 9 日の大統領選挙を控え、李ジェミョン民主党候補と尹ソクヨル国民の力候補が出した体育関連政策は、細部は多少違っても全般的に似通っている。

李候補の主な公約は、△自宅、職場から 15 分の距離生活に密着したスポーツを楽しめる環境づくり△体育人共済会の設

立とスポーツクラブの活性化による雇用創出△地方体育の財政拡充と地域特化種目の育成△スポーツ産業、未来産業の育成△高齢者と障害者の体育活動の支援--などだ。

尹候補は△国民スポーツ権保障、室内体育施設利用料所得控除△専門体育システム構築および体育財政拡大△幼稚園・保育園の幼少年スポーツ指導士派遣、小学校放課後スポーツ活動強化△スポーツチーム創設・運営企業インセンティブ拡大△eスポーツ育成-などを公約に掲げた。

タイトルは若干異なるが、詳細はかなり重複している。体育施設の拡充、体育人福祉の拡大、パークゴルフ場の拡充、学校体育およびスポーツ活動の強化、運動部運営企業への特典、eスポーツ育成などがそうだ。体育人福祉拡大は「体育人福祉法」が今年8月に施行されるため、事実上新しい政策とは言い難い。体育財政の拡大は、中央政府の財政を増やすよりは、国民体育振興投票権（トト）の収益金を体育界により多く配分するという方法論を、双方がほぼ同様に示している。

両候補が最も力を入れている核心政策はもちろんある。

李候補は「スポーツ参加ポイント」の導入を約束した。運動しながら貯めたポイントを地域貨幣で国民に与えるという内容だ。李候補が京畿道知事時代から京畿道を中心に育成した地域貨幣をさらに積極的に活用するという意味も込められている。カギは運動履歴をどのように測定し、検証するかだ。李候補は、運動履歴管理のためにウェアラブルデバイスも安く供給すると述べた。しかし、現実的な問題がある。デバイス間の測定誤差が大きい。安価なデバイスは性能が落ちる中国製が大半だ。米国や国産製品は性能は悪くないが、とても高い。これを国民に与えるには莫大な税金がかかる。また、測定誤差を減らすためには、同一のデバイスで統一しなければならない。特惠の是非や変則的な議論を招きかねない。

尹候補は「国民スポーツインセンティブ」の導入を約束した。運動量によって医療費節減分を健康保険料として還付するというのが骨子だ。同時に室内体育施設の利用料に対して所得控除も適用すると付け加えた。この公約もまた、運動量をどのように、どれほど正確に測定するかが疑問だ。尹候補政策には、「ウェアラブルデバイスを使用するという内容はない。結局、室内施設を使った履歴で運動量を集計する可能性が高い。運動量が操作できる可能性も排除できない。同時に、屋外で運動する人との公平性でも大きな問題が生じかねない。ユン候補側は「室内施設利用料所得控除は史上初めて出た公約」と述べた。

体育関連の政府組織改編政策は、李候補だけが出した。李候補は「国家スポーツ委員会」を新設するとした。政府省庁間で散在する体育関連政策を調整し、統合する機構だと李候補側は説明した。この公約は今月21日に施行された「スポーツ基本法」に基づいて構成される「国家スポーツ政策委員会」と多くが重複している。8日に閣議審議を経て公布されたスポーツ基本法施行令によると、国家スポーツ政策委員会は首相を委員長とし、企画財政部長官、教育部長官、文化体育観光部長官が副委員長を務める。外交部長官、統一部長官、国防部長官も委員として出席する。これと同時に、文体部第2次官、中央行政機関の次官級公務員が参加する次官調整会議も開くことになっている。李候補が公約として打ち出した国家スポーツ委員会が新設される場合、稼動を控えた国家スポーツ政策委員会と主要業務が相当部分重複するしかない。尹候補側は「スポーツ基本法に基づき、国家スポーツ政策委員会を首相傘下に置くことが義務付けられた」とし「そこが省庁間で散在する体育政策を総括し、調整できると思う」と述べた。

李候補は、専門体育育成を相対的に軽く扱った。2019年から体育界の反発を買ってきたスポーツ革新委員会の勧告についても見直し、現実に合わせて修正するという。尹候補は、公共スポーツクラブの公約がほとんどない。公共スポーツクラブは、先の政府が推進した主要体育政策の一つだ。尹候補は、専門体育システムを強化し、スポーツ革新委員会の勧告を全面的に見直すとし、李候補との差別性を強調した。全般的に李候補は、中央政府の強い行政力と少なからぬ国家財政投入を前提にした福祉中心の公約を主に掲げた。遠い未来よりは現実に近い未来に重みを持たせる政策だ。一方、尹候補は福祉公約の割合は相

対的に減らした反面、幼児・子供運動、アウトドア・レジャースポーツを強調した。管理・維持より成長・拡張に焦点を置いたわけだ。

一良くない視線を浴びる政策もある。双方が同じく高齢者の票を獲得するために打ち出したパークゴルフ場の拡充がそうだ。もちろん、パークゴルフが最近人気を集めているのは事実だが、これは地方自治体が地域環境、人口構造などに合わせて個別にすべきことだ。それを中央政府が国家事業で推進すれば政界が不動産・建設業者と癒着し、不正が生じる公算を排除できない。双方が同じく強調するeスポーツ支援とスポーツビッグデータ関連事業も批判的に見る見方が少なくない。政府が直接支援するよりは、民間が自ら成長できるように規制を緩和する方向で国家政策がまとまるべきだというのが大方の見方だ。このような未来産業候補群に政府が深く関与する場合、政府の影響力があまりにも大きくなり、政府組織だけが膨大になって民間産業界の自生力とグローバル競争力がかえって低下しかねないという批判に耳を傾ける必要がある。

首都圏大学スポーツ関連学科で働くある教授は「未来産業群に政府があまりにも深く関与するのは望ましくない」とし「大統領選挙に勝利した側で戦利品分け合いと公共機関長の恩返しなどが横行する可能性もある」と心配した。

出典：https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202202271230003&sec_id=530101&pt=nv

05 週間 スポーツ ニュース

「スポーツ不正、御用だ」 済州監察団が活動開始

<http://www.jibs.co.kr/news/articles/articlesDetail/21079?feed=na>

「少数者の人権・感受性」 彼らの叫びを込めた

<http://www.gnmaeil.com/news/articleView.html?idxno=490010>

FIFA、ウクライナ侵攻のロシア制裁を全会一致で決定... 制裁レベルの論議

<http://www.sisafocus.co.kr/news/articleView.html?idxno=274006>

慶尚南道体育会、スポーツ人権向上委員会発足

<https://www.vival00.com/main/view.php?key=20220225010006509>

北京五輪で反戦メッセージを伝えた選手「武器を持って抗戦」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220228070600007?input=1195m>

僕たちも国家代表です。

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220224162200013?input=1195m>

米女子サッカー代表チームの成功的闘争、先駆者キング女史がいた。

<http://www.sportsseoul.com/news/read/1101186?ref=naver>

忘れられない北京五輪の8つのシーン「ピッ！」

<http://www.mediatoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=302459>

「金メダルへの執着」を脱ぎ捨てた五輪、さらに大きな感動を覚えた

http://star.ohmynews.com/NWS_Web/OhmyStar/at_pg.aspx?CNTN_CD=A0002812057&CM

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>